

日本家畜管理学会・応用動物行動学会2014年度春季合同研究発表会プログラム

文部科学省研究交流センター、2014年3月25日(火)

口頭発表(2階 国際会議場) 9:00~10:45、13:00~15:10

NO.	時刻	演題および演者	座長
1	9:00	初産牛の泌乳・体重曲線に基づく産乳・繁殖特性 ○早坂貴代史・壹岐修一・古川 修(北農研・雪印種苗)	三谷 朋弘
2	9:15	自動給餌機を用いたつなぎ飼料飼養における残飼量の実態 ○富田宗樹・松野和和・小島智美・長谷川三喜(農研機構生研セ)	三谷 朋弘
3	9:30	黒毛和種肥育牛における身繕い器具の利用実態および機能について 東 紀江・○二宮 茂(岐阜大応用生物)	三谷 朋弘
4	9:45	黒毛和種子牛の離乳ならびに群飼ストレスとその後の発育 ○桃田優子・赤坂 茂・千田幸広・佐々木修一・佐々木 修・南雲鮎美・増中朝美・平田統一・出口善隆(岩手大農FSC御明神牧場・岩手大農)	三谷 朋弘
5	10:00	イヌの一時保管業務に対する芳香の活用に関する検討 -精油と人工香料の比較- ○堀井隆行・都築梢理・高下和也・高橋直美・福山貴昭・井上絢子・田中智夫・鎌田壽彦(ヤマザキ学園大動物看護・㈱リラインス・麻布大獣医)	伊藤 秀一
6	10:15	加速度データロガーを用いたイエネコの活動量測定のための記録条件の検討 ○前澤利輝・北澤実果・加隈良枝(帝京科学大)	伊藤 秀一
	10:45	ポスター予告(奇数番号:1~29)	伊藤 秀一
	12:00	総会	
7	13:00	サンバエの捕獲及び飛翔数把握に有効な装置の製作と防除への利用 ○澤 英夫(鳥取中小試)	二宮 茂
8	13:15	Kinectを用いた3D計測法の酪農への応用 ○高橋圭二・小田琢磨(酪農学園大)	二宮 茂
9	13:30	フリーストール牛舎における牛床選択へのネットワーク解析の応用 ○森田 茂・本田真衣・上田美智子・干場信司(酪農学園大農食環境)	二宮 茂
10	13:45	生後7日間における山羊母子間の音声コミュニケーションと行動 ○久保寺優・苗川博史・安部直重(玉川大農・東京学芸大教育)	二宮 茂
11	14:00	ハシトガラスの晴(ねぐら)立ち時刻と日の出時刻 ○竹田 努・藤崎 梢・杉田昭栄(宇大農)	竹田 謙一
12	14:15	脚くりわなに対するニホンジカの反応 -動物はわなに気づいているか?-- ○石川圭介・片井祐介・山田晋也・伊藤 愛・大場孝裕・大橋正孝(静岡森林林業セ)	竹田 謙一
13	14:30	イノシシの押す力はどれくらいか ○坂倉健太・江口祐輔・上田弘則・植竹勝治・田中智夫(麻布大院獣医・近中四農研)	竹田 謙一
14	14:45	イノシシにおける登坂可能な傾斜角度の測定 ○江口祐輔・竹内啓之・堂山宗一郎・上田弘則・植竹勝治・田中智夫(近中四農研・麻布大院獣医・島根県)	竹田 謙一
	15:10	ポスター予告(偶数番号:2~28)	竹田 謙一

ポスター発表(2階 ロビー) 11:10~12:00、15:40~16:30

* 口頭発表の会場において、発表者は1分間のポスター予告をする。1分経過した時点で、途中であっても終了する。

* 演題番号が奇数の発表者は11:10~11:40、偶数の発表者は15:40~16:10を責任時間とし、ポスターの前に居なければならぬ。

NO.	演題および演者
1 ☆	酪農家で働く女性の満足度低下要因 ~十勝地方S町における乳牛の健康状態が満足度に及ぼす影響~ ○佐々木美穂・干場信司・加藤博美・猫本健司・森田 茂(酪農大酪農)
2 ☆	搾乳牛における発情行動と腔粘液を用いた発情発見に関する研究 ○新屋聡子・古村圭子(帯畜大)
3 ☆	ソーシャルネットワーク分析を用いた牛群の親和関係の空間的及び行動的な解析 ○木内明子・竹田謙一(信州大農)
4 ☆	搾乳牛における血中オキシトシン濃度は社会的親和行動を促進する ○陳 絲宇・盧 尚建・佐藤衆介(東北大院農)
5 ☆	去勢子牛におけるオキシトシンおよび長期作用型オキシトシン作用薬鼻腔内投与の効果 ○吉田葉純・須藤まどか・粕谷悦子・桑原正貴・矢野健一(東大院獣医・畜草研・生物研)
6 ☆	要求度の測定によるウマにおける模擬グルーミングの評価 ○寺島萌土・香田啓貴・二宮 茂(岐阜大応用生物・京大霊長研)
7 ☆	ヒツジにおけるあくびと反芻の伝染 ○佐藤康平・内田萌菜・山崎 淳・米澤智洋(北里大獣医・東大農)
8 ☆	ヒツジにおける羊毛食い発現の日内変動と飼育密度の影響 ○黄 宸佑・竹田謙一・松井寛二(信州大農)
9 ☆	アニマルウェルフェア指標としての母子羊間の音声行動 ○苗川博史・Batarchingiin Myakhdadag(東京学芸大・Committee on Nature Environment, Food and Agricultural, Mongolia)

☆: 優秀発表賞対象演題

ポスター発表(2階 ロビー) 11:10~12:00、15:40~16:30

NO.	演題および演者
10 ☆	輸送の反復がヤギの生理学的・行動学的反応に与える影響 ○佐怒賀琴美・青山真人・杉田昭栄 (宇都宮大農)
11 ☆	アニマルウェルフェアと生産性に関する一考察 ~利潤計算モデルを用いた生産可能性曲線モデルの拡張~ ○今野 洋・川村 保(宮城大院食産業・宮城大食産業)
12 ☆	乳牛の睡眠行動の発現とアニマルウェルフェアおよび生産性との関係 ○伊藤あやか・二宮 茂(岐阜大応用生物)
13 ☆	ウシにおける血しょう中成長ホルモン濃度が人工哺乳後の葛藤行動に及ぼす影響 ○渡辺峻一・佐藤衆介(東北大院農)
14 ☆	肥育牛における土壌のエンリッチメント素材としての有用性 ○有賀小百合・田中繁史・千葉 孝・渋谷暁一・佐藤衆介(東北大院農・東北大FSC)
15 ☆	都市部における屋外イエネコの個体数とTNRの効果 ○田中瑞穂・野坂香林・植竹勝治・山田佐代子・金子一幸・佐藤礼一郎・田中智夫(麻布大獣医・神奈川県動物愛協)
16 ☆	犬におけるSLC6A3遺伝子の多型と注意力の関連 ○倉地卓将・西出雄大・小山哲史・佐藤俊幸(東京農工大・つくば農生研)
17 ☆	日本の動物園におけるアニマルアトラクションの実態 ○内田木野実・小針大助(茨城大農)
18	エサの埋没がアジアゾウの採食関連行動に及ぼす影響 ○萩原慎太郎・井亀 徹・久保岡達也・藤井 修・鎌倉厚司・原田昌治・杉之原鉄郎・田中正之・岡本智伸・伊藤秀一 (福山市立動物園・京都市動物園・京大野生動物研究セ・東海大)
19 ☆	混合種飼育におけるサバンナシマウマのウェルフェアの評価および単種飼育との比較分析 ○木村元大・二宮 茂(岐阜大院応用生物・岐阜大応用生物)
20	社会環境の変化が飼育下ニシゴリラの睡眠に与える影響 ○三家詩織・伊藤二三夫・佐々木智子・伊藤英之・長尾充徳・田中正之(京大野生動物研究セ・京都市動物園)
21 ☆	生息環境展示施設がニホンザルの行動に及ぼす影響 ○八代 梓・古家 岬・本村泰隆・松本充史・田中正之・伊藤秀一(東海大院農・東海大農・熊本市動植物園・京都市動物園)
22	シロテテナガザル(<i>Hylobates lar</i>)における学習課題遂行とエンリッチメント効果 ○田中正之・三家詩織・島田かなえ・松永雅之(京大野生動物研究セ・京都市動物園)
23 ☆	障害をもつチンパンジーにおける認知課題を利用したリハビリテーションの導入 ○櫻庭陽子・友永雅己・林 美里(京大霊長研・日本学術振興会)
24	野生チンパンジーの生息地利用と気温との関係 森村成樹(京大・熊本サンクチュアリ)
25	センサーカメラを用いた野生ザル群の実態把握 ○田中俊也・藤井暁彦・市川 睦・小野勇一・栗田博之((一財)九州環境管理協会・北九州市役所・九大名誉教授・大分市教育委員会)
26 ☆	ニホンジカ(<i>Cervus nippon</i>)の色覚に及ぼす明期と暗期の影響 ○神谷香住・竹田謙一(信州大院農・信州大農)
27 ☆	竹林内の歩道造成に伴う野生動物の生息状況の変化と季節的変動 ○竹内啓之・江口祐輔・上田弘則・植竹勝治・田中智夫(麻布大院獣医・近中四農研)
28	Quantity discrimination in trained and spontaneously tested jungle crow (<i>Corvus macrorhynchos</i>) ○Bogale Bezawork Afework・Masato Aoyama・Shoei Sugita(宇大農)
29	障害物と報酬の距離がハクビシンの行動に及ぼす影響 ○加瀬ちひろ・江口祐輔(自然環境研究セ・近中四農研)

☆: 優秀発表賞対象演題

応用動物行動学会・日本家畜管理学会 共催 2014年度春季シンポジウム

文部科学省研究交流センター、2014年3月26日(水) 9:15~11:35

「原発事故警戒区域内に取り残された牛のその後」-応用動物行動学会特命チーム報告-

- 9:15 開会挨拶 (植竹勝治:麻布大・応用動物行動学会会長)
- 9:20 特命チームの活動報告について (森田 茂:酪農大)
- 9:30 放牧地における放射性セシウムの動態 (安江 健:茨城大)
- 10:15 放牧地における保護牛の行動 (出口 善隆:岩手大)
- 10:45 警戒区域内の放牧地並びに放牧牛の放射性物質汚染状況 (岡田 啓司:岩手大)
- 11:15 見直された警戒区域のその後 (佐藤衆介:東北大)
- 11:30 閉会

司会進行: 二宮 茂(岐阜大)